

2023年度保育所及び認定こども園における自己評価

本年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育・教育に活かせる方向で記入して下さい。

・ A B C D の4段階評価です。

A : たいへんよい
B : よい
C : 一部検討を要する
D : 改善を要する

保育所・こども園名【 福知山認定こども園 】

自己評価の観点	前年度の 評価	本年度 の評価
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について		
① 会の保育理念を十分に理解し、日々の保育実践に活かしている	A	A
② 園の保育方針、保育目標を理解し、保育を実践している	A	A
評価の根拠 園舎内に掲示をすると共に、ミーティングの際には全員で唱和を行い意識づけを行っている。また理念や保育目標に基づいた計画を立て、保育を実践している。		
2. 保育について		
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	A	A
② 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	A	A
③ 評価、資料（諸記録）を集積している	B	A
④ 日々の保育実践について振り返りを行い、計画に生かし、子どもの育ちに反映させている	A	A
⑤ 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している	A	A
⑥ 気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	A	A
⑦ 季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている	B	A
⑧ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています	B	A
⑨ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	B	A
⑩ 保育についての話し合いをよくしている	B	A
⑪ 保育士自身が楽しんで保育をしている	B	B
⑫ それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	B	B
評価の根拠 全職員が一人ひとりの発達や特性を理解し、ケース会議においても情報を周知し共有している。日誌や記録をPDCAに基づいて振り返り、保育の実践に活かしている。保育の環境においては職員同士で話し合いを繰り返し、より良い環境作りを目指しているが試行錯誤の中で悩みも多かった。		
3. 健康管理について		
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	A	A
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	A	A
③ 乳幼児突然死症候群（SIDS）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	A	A
評価の根拠 午睡時はSIDSチェックを行い安全に努めている。また登園確認を主任や担任で行い、必要に応じて保護者にも連絡をしている。保護者と体調についてしっかりと連携を取り、体調の変化に十分注意できるようにしている。感染症情報を発信している。		
4. 行事について		
① 行事の種類や実施回数は適切である	A	A
② 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	B	A
評価の根拠 行事については事業計画を作成し、それに基づきねらいや内容等の会議をその都度行っている。また、PDCAサイクルでの振り返りを行っている。		
5. 食育について		
① 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	B	A
② 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	A	A
③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	B	A
評価の根拠 給食会議を月に1回行い、調理担当者と保育者と連携を図った。菜園活動の他にも視覚的教材を用いたり食材を見たりする等、食への関心を高めている。また、旬の食材を取り入れる事や郷土料理に親しむ事等、工夫をしている。		
6. 運営について		
① 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある。	A	A
② 各種会議を適切かつ効率的に進めている	A	A
③ 打合せ回数、時間、内容は適切である	B	C
評価の根拠 職員の役割分担が明確化されており、それに基づき担当業務を進めている。時間を調整し、各種会議を効率的に行っている。会議の内容を深める事や決定するまでに時間を要したことが課題である。		

自己評価の観点		前年度の 評価	本年度 の評価
7. 保健・安全指導について			
① 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている		A	A
② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している		A	A
③ 事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている		B	A
④ 廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している		A	A
⑤ 室内の衛生、クラス廻りの清掃に心がけ気持ち良い環境に心がけている		A	A
評価の根拠 ・室内や玩具の消毒、換気等の保健対策を講じている。事故災害のマニュアルはある。月に1回避難訓練を行い、その際には消火器の使用期限の確認や排煙窓が正常に開閉するか確認を行っている。			
8. 研修について			
① 部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている		A	A
② 研修報告を園内で実施している		A	A
評価の根拠 ・ZOOMを活用する等、部内外共に研修を受けやすく一人ひとりに応じた研修内容になっている。また、研修報告を月に1回行い、全職員に内容を周知している。			
9. 情報について			
① 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している		A	A
② 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している		A	A
③ 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している		B	A
評価の根拠 ・情報を持たさない事や個人の知り得た情報を漏らさない事等、守秘義務を守っている。また、記録については鍵のかかる場所に保管し、パソコン内の情報はパスワードを設定し適切に管理をしている。			
10. 設備について			
① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている		B	A
② 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している		A	A
評価の根拠 ・安全点検はマニュアルの元で月に1回行っている。掲示板を使い、地域の人や保護者にも分かりやすく情報を発信している。			
11. 保護者支援について			
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている		A	A
② クラス懇談や個別懇談を行っている		A	A
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている		A	A
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている		A	A
評価の根拠 ・保育参観やクラス懇談会、個人懇談等、保護者に保育の内容や子どもの様子について伝え理解してもらえるようにしている。ドキュメンテーションや動画、写真を用いて保育の見える化を図っている。			
12. 開かれた保育所づくりについて			
① 園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している		A	A
② 職員による育児に係る「子育て相談」は充実している		A	A
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している		A	A
④ 中高生の職場体験や実習生の受入を体制について、その意義や方針を全職員が理解している		B	A
⑤ 来客や地域の方に明るく挨拶をしている		A	A
評価の根拠 ・園庭開放や子育て相談を行い、地域の方に開放している。職業体験やボランティア、実習等の受け入れマニュアルに基づき、受け入れの意義や意図を職員間で共有している。			
13. 情報発信について			
① えんだより、すこやかねっと等で、情報発信に努めている		A	A
② 行事や子育て支援等を、地域や小学校等に対して周知している		B	A
評価の根拠 ・地域の方や近隣の関係機関に園だよりを配布している。地域の会議に参加し、園や地域の情報を共有している。ブログやInstagramを用い、地域にひらかれた子ども園を目指し、情報を発信している。			
14. 人権擁護について			
① 園児一人ひとりの人格を尊重し、適切な言葉かけや関わりをしている		A	A
② 園児の家庭環境や国籍、性別等の多様性を認識し、差別のない関わりをしている		A	A
評価の根拠 ・人権研修や人権講座等、園内外で研修を受け、日々人権意識の向上に努めている。一人ひとりの家庭環境や背景を踏まえ、個々に応じた保育をすることを心掛けている。			
15. 総括			
年間をとおしての振り返りと、子どもの育ちをより豊かなものにするための保育の実現に向けて、今後力を入れて取り組みたい事柄や課題等をお書きください。			
・自己評価をとおして、前年度よりも改善・充実した点 ・主体性を育む保育を意識し、子どもが遊び込める環境構成を工夫した。また、各種会議で職員同士がねらいを共有し内容等が深まるようにした。・今年度よりInstagramを開設し、さらに外部発信に力を入れた。・写真や動画を効果的に用い、保育内容を分かりやすく保護者に伝えるよう努めた。・行事食に全国各地の郷土料理を取り入れ、食への関心を高める工夫をした。 ・課題だと考えられる点や次年度の計画に反映させたい点 ・子どもの興味関心に応じた保育環境作りを目指し、主体的な保育の実践を進める。・時間を有効活用し事務処理を計画的に行う。・会議の開催において限られた時間内で決定までの見通しを持ち、活発な意見を出し合う。			